

冬ノ十表

都へみやこへの人にしられざらん所に後世へごせとふらはんと思ひて國々へくにめぐり侍しにこの

野邊へへの草花に心をうつして春夏へしゆんかへ

秋冬へしうとうへのながめ心すまずといふ事なく

侍ると申せばさて朝夕へてうせきの事いかとし

たまふとたつぬるに思ひかけぬみち

行人などの聞つけ訪おりもあり又

二三日むなしく侍るおりもありされ共

さらにくるしみとせずわざとけふりた